

## 地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

### SDGs 講演会の質問の返答が届きました！ その①

2年生を対象に実施した、SDGs 講演会での質問の返答が講師の岡本先生より届きました！大変お忙しい中、分かりやすく、そして詳しく質問にお答えしていただきました。ありがとうございます！

少し時間が経ってしまいましたが、講演会の内容を思い出しながら読んでみてくださいね😊



#### Q.1

先進国（特に日本）のコンパクトシティや過疎地域等の広く使わなくなった土地に、**人口爆発している国（発展途上国）から人を移住させることは可能でしょうか。**

また、**使わなくなった土地を福島放射性廃棄物の廃棄場所として活用することや、ソーラーパネルを置いて非常用の電源を確保する、といった提案は可能でしょうか。**

#### A.1

・**移住は物理的に可能**ですし、実際に日本の政策は徐々に移民を受け入れる方向に動いています。ただし移民受け入れ先進国のヨーロッパなんか見ていると、移民受け入れの反動が来ており、逆に排斥する例も散見します。違うものの考え方・文化・コミュニティを持っている方々が入ってくるので、受け入れる側と移民側両者それぞれがお互いの・考え方・文化等への相互理解・尊重が必要になってきます。**人間の考え方というのはなかなか短期間では変わらないので、段階的にある程度の時間を経ながら実施していくのが賢明**だと思います。

・**ソーラーパネルは可能**ですし、実際日本国内の使われなくなってきた土地（例えば耕作放棄地）での設置が増えてきています。ただ日本の土地は急峻な地形が多いので、土砂災害や景観破壊などを誘発しない土地を選んで設置することが大事です（日本は実はあまりそういった安全な土地が無いところが問題ではあります）。

・**放射性廃棄物は放射性物質が出続けるので、空いている土地の地下深く埋めたとしても住民（あるいは地主）の拒絶反応**が激しく難しいかと思います。



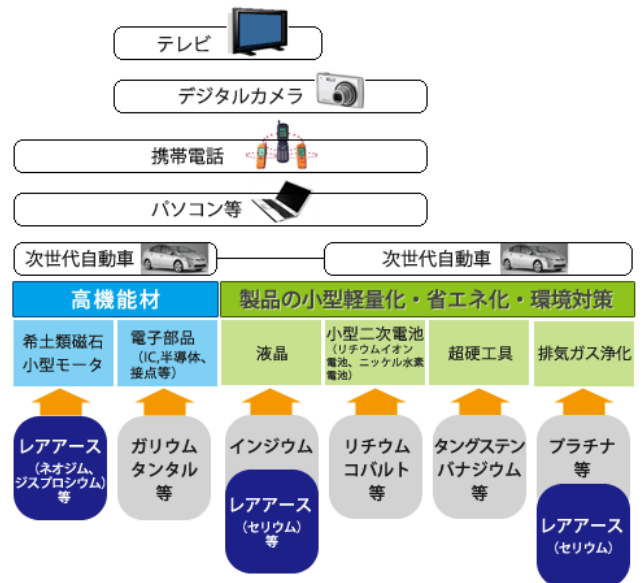


### Q.2

**機械や AI などを用いて環境問題を解決すること**(今回の話ではスマートシティ)は、**機械などを作るうえで排出される二酸化炭素を考慮した上で、意味があること**だと思いますか？

### A.2

・ある機械や AI 機器を作る際中にある程度二酸化炭素が排出されても、**おそらくスマートシティを建設して排出されなくなる量の方がはるかに多い**と思います。一度作った街はかなりの時間存在し続けますので。ただ AI 機器や太陽電池等は地球にあまり存在しない(していてもある国に偏って存在する)レアメタルやレアアースを使うことが多いです。むしろ**これらの資源の枯渇やそれに起因する地域間競争が問題になるのでは、**と思います。



レアアースの主な用途(経済産業省 HP より)



### Q.3

スマートシティの構想が進むにつれて、**中津川でも居住区の縮小が進む**と思います。僕は市の郊外にある**小さな町に住んでいるのですが、そのような町はいつかは廃町になってしまう**のでしょうか。

### A.3

・町の魅力づくりを怠るといづれなくなると思います。ただ何かしらの地域の魅力を残す活動をまず住んでいる方々が主体的に行って、**他地域から共感者を集めその魅力を上手に醸成していけば、生き残ることもできるか**と思います。いづれにしても**住んでいる方々のアクション**とどうしても**町を残したいという情熱**が不可欠だと思います。



その1 栗のまち中津川  
栗きんとん発祥のまち  
中津川



その2 自然を知る  
雄大な山々と四季折々の  
自然を感じる

中津川の魅力(中津川市観光協会公式 HP より)

1号では紹介しきれませんでしたので、**続きは次号で紹介します!**  
**お楽しみに!!**